

厚生病院だより

# ほほえみ

広報誌

第70号

2019 10. 1

## Topics

●ハッピー健康相談室 12月4日(水)

テーマ：元気に歩こう！動こう！

- ・「皆さん、ロコモをご存知ですか？」
- ・「簡単体操でロコモ対策！」
- ・「要チェック！ロコモ度テスト」

●認定看護師の活躍

皮膚・排泄ケア認定看護師

●クリスマスコンサート

●リレー・フォー・ライフ

～皮膚科～

バイオで  
輝かしい人生を！

PHOTO：岡田克之

基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170  
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



# 皮膚科

Dermatology

副院長兼  
皮膚科診療部長 おかだ かつゆき  
岡田 克之



## バイオで輝かしい人生を！



皆さん、何か皮膚に気になることはありませんか。皮膚疾患はボディイメージに影響し、生活の質（QOL：quality of life）を下げるものです。皮膚科専門医は「パッと見」で多くの情報を得て診断していますが、患者さんにしてみれば、誰かにパッと見られることがストレスかもしれません。治りにくい皮膚疾患の新たな治療として、**生物学的製剤（Biologics：通称バイオ）**があります。発症に関わる異常な生体反応をさえぎる薬で、副作用の可能性、注射に対する躊躇、高い薬価などの課題はありますが、今まで到達できなかった治療効果を得ることが可能です。皮膚科でバイオを導入している3疾患を挙げてみます。

### 乾 癬（かんせん）

尋常性乾癬は、こうはん紅斑（赤くなる）、らくせつ落屑（皮がむける）、こうけつ硬結（硬くなる）が特徴で、そういう発疹が全身どこにでも出ます。関節症を伴うこともあり、メタボリック症候群や脳心血管イベントにも関わります。『乾癬』に対するバイオは現在8種類。投与法が少しずつ異なり、安全のため導入前後で十分な検査を行います。今や発疹の消失をめざせる時代ですので、日常生活や社会生活に支障のある方には、大いなる恩恵ではないでしょうか。当院は日本皮膚科学会のバイオ承認病院であり、群大病院皮膚科に次ぐ導入数（現在まで28例）です。

### アトピー性皮膚炎（AD：atopic dermatitis）

年代によって多彩なAD。特に成人型ADでは、強いかゆみと広範囲の発疹のため、QOLへの影響は大きいでしょう。乾癬と異なり発疹の消失は難しいのですが、かゆみを抑えて症状を改善します。スキンケア、外用療法、抗ヒスタミン薬や免疫抑制薬でもなかなか良くならなければ、バイオを

考えてはいかがでしょう。ADの診断や治療に精通した医師の下で投与すると定められ、当科では現在3例ほど導入して効果を得ております。

## 蕁麻疹 (じんましん)

赤くふくれてかゆくなる、口やノドが腫れることもある、それが蕁麻疹です。出たり消えたりをくり返しながらか数日から2週間でおさまります。1カ月以上も続くのは慢性蕁麻疹、治りにくくてQOLを下げるものです。蕁麻疹に対するバイオは、月1回、計3回の注射で効果をみます。完全に抑えきれなくても、ステロイド薬や免疫抑制薬から離脱して、シンプルに抗ヒスタミン薬の内服だけにできれば恩恵でしょう。

バイオは、さまざまな領域で効能を発揮します。当院では皮膚科のほか、炎症性腸疾患や関節リウマチ、気管支喘息などで使われています。副作用は定期的な検査でチェックしますし、高い薬ですので高額療養制度についてもご相談ください。自己注射が可能なら通院回数も減らせます。躊躇<sup>ちゅうちよ</sup>される方も多いのですが、**QOLの改善により患者さんの人生を輝かしいものに変える、それがバイオです。**皮膚から髪から爪の先まで、それが皮膚科の守備範囲！お気軽にご相談ください。

第22回

## ハッピー健康相談室

“健康な暮らし” それは皆さまの願いでしょう。

心のこと、体のこと、疑問なこと、困っていること、ありませんか？  
皆さまの健やかな幸せのため、楽しく学べる時間、お待ちしております。



日時

2019年12月4日(水) 14:00~16:00

テーマ

元気に歩こう！動こう！

- ・「皆さん、ロコモをご存知ですか？」 整形外科診療部長 斯波俊祐
- ・「簡単体操でロコモ対策！」 22世紀親子から子育て塾 マスター講師 飯島理恵
- ・「要チェック！ロコモ度テスト」 リハビリテーション科 理学療法士 畑中有理

■ 場 所: 桐生厚生総合病院 情報コーナー(正面玄関脇)

■ 参加費: 無料(事前申し込みは不要です) ■ 駐車場: 無料(当院の駐車場をご利用ください)

■ 主 催: 桐生厚生総合病院 医療ホスピタリティ推進委員会 ■ 問い合わせ: 事務局 TEL.0277-44-7130

## 認定看護師の活躍

私は1999年に皮膚・排泄ケア認定看護師を取得し、今年で20年となりました。主な活動としては、褥瘡対策管理者じよくそうとして病院内での褥瘡管理じよくそうを行っております。創傷ケア、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）ケア、失禁関連ケアなど多岐にわたり活動をしています。

創傷ケアに関しては、皮膚障害に至った状態から脆弱な皮膚じよくそうに対するスキンケアを中心に、褥瘡じよくそうや下腿潰瘍かたいかいよう、術後創傷など、さまざまな創傷に対して予防から処置においてケアの提供を行っています。

近年、病院・在宅ともにスキン・テア（皮膚裂傷）が問題となっております。医療安全の面からもチームで取り組んでいくことが必要であると感じております。

ストーマに関しては2人の皮膚・排泄ケア認定看護師が在籍しているため、ストーマ造設された方を入院中から退院まで、装具選択やケア方法、日常生活の指導などを行っています。退院後も継続的なケアの提供が受けられるようにストーマ外来を開設しており、患者さんが不安のない日常生活を送れるようサポートしています。

失禁関連のケアでは排尿ケアチームの一員として病院内を回診し、入院患者さんが早期に排尿が自立できるよう援助を行っています。

これまでさまざまな相談をいただいておりますが、私たちができることは、患者さんが安心して安全な入院生活を送っていただき、より早くその人らしい普段通りの生活に戻れるよう援助させていただくことにあると思っています。

病院外での活動においては、研修会・勉強会を実施しており、地域の皆様とより密接に関わりを持ちながら、有機的な連携が図れるよう日々努力しております。病院・施設・学校等にも直接出向いて行う出前講座も実施しておりますので、ぜひご利用ください。

褥瘡じよくそう・皮膚のトラブルなどでお困りのことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



褥瘡対策管理者  
皮膚・排泄ケア認定看護師  
おおやうちちえ  
大谷内 千恵

連絡先：桐生厚生総合病院 褥瘡対策室

電話：0277-44-7171（内線595）

メールアドレス：jokusou@kosei-hospital.kiryu.gunma.jp 褥瘡対策管理者 看護師長 大谷内千恵

時間：9:00～17:00（土、日、祝日、年末年始は除く）





がん征圧・がん患者支援 チャリティーウォークイベント

つながろう がんに負けない いのちのリレー

# リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 ぐんま に参加します！

リレー・フォー・ライフ（命のリレー）は、がんに立ち向かう方々の勇気を称え、がん患者や家族、友人、支援者と共に地域一丸となってがん征圧を目指すチャリティー活動です。イベント参加者は夜通し交代で歩きます。

**日時** 10月12日(土) 12:00 スタート 13日(日) 12:00 ゴール

**会場** ALSOK ぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンド [前橋市関根町800]

※イベントの見学は自由にできます。詳しくはHP (<http://relayforlife.jp/gunma/>) をご覧ください。

## クリスマスコンサート 開催のお知らせ

今年もリヴィエール合奏団の方によるクリスマスコンサートを開催します。  
クリスマスにちなんだ名曲の数々をお送りいたします。



12月14日(土) 15:00 から



1階 エントランスホール  
(正面玄関付近)

皆さまのお越しをお待ちしております。

共済会 文化部



(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)